

## 第44回 JOC ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会飛込競技大会開催にあたっての留意事項

令和2年11月25日改訂（公財）日本水泳連盟発信「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施とするが、ガイドラインに定めるものの他に以下の点に留意して実施をします。

- ・受付時に「健康チェック表」を確認し、最終日に提出させる。提出されたものは競技会終了後、1ヶ月保管する。
- ・更衣室および大会関係者が使用範囲の手洗場には石鹸、ペーパータオルを用意。プールサイド数カ所にも手指消毒液を設置する。
- ・更衣室は密集にならないと想定されるが、最小限の更衣のみの使用とし、ロッカーの使用は禁ずる。・アップスペースは、選手間の間隔を空けるように位置を定め、プールサイドに設置。密閉された小部屋等の使用は禁止。
- ・練習で並ぶ際も1m以上の間隔を空けさせる。並ぶ位置の目印を貼る。
- ・入水以外の練習では、マスク着用を原則とする。
- ・プールサイドから水中にいる選手への発声での指導や、指導者同士の会話は禁止する。
- ・指導者（コーチ）のマスク着用は必須とする。
- ・コーチ席エリアの指導者の間隔も密接にならないように配置する。
- ・練習日および競技日も選手の入替わりのタイミングで手すり等の消毒を行う。
- ・待機場所は3密を回避するために、別途場所を定める。
- ・スタンドは該当競技以外の選手、マネージャー等チーム関係者に開放するが、発声での応援やかけ声は禁止する。
- ・スタンドは1個おきに座り、対面での会話を避ける。
- ・選手の飲食場所は、待機場所の飲食可能エリアに密を回避できるように設置する。
- ・競技役員、審判員は最小人数で実施できるようにする。
- ・競技役員のマニュアルは細分化したものを作成し、当日のミーティング等は実施せずとも、競技会が実施できるようにする。
- ・審判席や記録席には必要に応じて、アクリル板等を設置する。
- ・招集は集合形式を取らず、各自種目の確認のみとする。
- ・招集時の選手ADカード回収・返却は競技役員の見視下、回収スタッフの手に触れることのない方法で管理・実施する。
- ・担当者を決め、適宜巡回をし、注意喚起を行う。
- ・役員、審判についても密集される控え室の使用を控える。  
→審判、役員においては、控室での密集を避ける。また、昼食時には対面にならないよう注意をする。

●併せて競技会会場が定める以下の項目もご確認ください(2021/03/15 現在)。

- ①発熱（37.5以上）の方は、入館できません。
- ②咳・咽頭痛の症状がある方は、ご来館をお控えください。
- ③同居家族・身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の監査期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は、ご来館をお控えください。
- ④館内はマスクを着用してください。
- ⑤人との距離を、十分に開けるように注意してください。
- ⑥利用者全員の検温をしていただき、利用前に【体調チェック表】を受付に提出してください。
- ⑦入館前にはアルコール等による手指消毒をしてください。
- ⑧ウォータークーラー・採暖室・血圧計・脱水機・体重計・ドライヤー・靴袋・雑誌、新聞紙(配付用は除く)はご利用いただけません。
- ⑨利用制限を行う場合もございます。

※ 上記対策は、社会の情勢を鑑み、変更する場合があります。